

令和5年12月26日
高知工科大学

個人情報の誤公開に関するお詫びとお知らせ

この度、本学教育用ファイルサーバにおいて、教員によるアクセス権限設定の確認不足により、当該教員の個人ディレクトリに保存されていた卒業生1名の個人情報が参照可能な状態であったことが判明しましたのでご報告いたします。

このような事態が発生したことにより、本事案に関係した卒業生並びに関係者の皆さまには多大なるご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

1 本件の経緯

- ・ 令和3年8月、当該教員が、履修指導を目的に単位取得状況や履修科目等に関する個人情報をワークステーション室端末を利用して自身の個人ディレクトリに保存。
- ・ 令和5年11月29日、大学事務局が、本学学生から「当該教員の個人ディレクトリにアクセス可能であり、個人情報が参照可能である」との指摘を受ける。大学事務局から連絡を受けた当該教員は、ただちにディレクトリ内の個人情報を削除するとともにアクセス権限の設定を非公開へ変更。
- ・ 12月上旬、当該卒業生に対してお詫びと状況説明を行った。

2 参照可能であった情報

対象者：令和3年度卒業生1名

内 容：「個別成績表」「卒業要件確認表」「履修時間割表」「成績集計表」

※所属、学年、学籍番号、氏名、生年月日等が記載

その他：当該個人ディレクトリへは学内ワークステーション室端末から学生又は教職員アカウントでログインした場合のみアクセス可能

3 個人情報漏えいの可能性について

- ・ 当該個人ディレクトリには、ディレクトリ名称を直接指定しないと到達できなかった。よって、第三者に当該個人情報が漏えいした可能性は完全には排除できないが、極めて低いと考えられる。
- ・ 現時点では、本件による当該個人情報の不正利用等の事実は確認されていない。

4 再発防止策

- (1) 全教職員に対して、個人情報の取扱について周知徹底を行う。
- (2) 情報セキュリティポリシーの見直しを行う。
- (3) 教育用ファイルサーバにおけるアクセス権限設定の強化を図る。

学長コメント

このような事態が起きたことにより、当該卒業生をはじめ関係者の皆さまにはご心配とご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

全教職員に対して個人情報の適切な取扱いについて周知徹底するとともに、情報セキュリティ基準の見直し等、必要な再発防止策に努めて参ります。